

平成 28 年度国際言語文化研究科教育研究プロジェクト
「言語文化研究ネットワークの構築と推進プロジェクト」企画

第 14 回日本語教育研究集会予稿集

発表者	タイトル	頁
杉村 泰	二者会話場面における指示詞（コソア）の選択	2-5
疏 蒲劍	副詞「非常に」、「ほとんど」、「完全に」の修飾能力	6-9
張 季媛	接続助詞を用いた中途終了型発話文の待遇的談話機能 —理由を表さない「カラ」を中心に—	10-13
李 夢迪	接尾辞「-性」「-化」「-的」について —前接する語基の特徴をめぐって—	14-17
鈴木智美	「のだ」の拡張的使用 —自己防衛の柔らかな言語表現化「のかなと思います」—	18-21
馮 晶	中国人日本語学習者の「言いさし文」に対する認識状況から見る 日本語教科書との関連 —「レバ」「タラ」を中心に—	22-25
曾 勇	受身構文の日中対照研究 —主語と行為者の有生性について—	26-29
権 裕羅	感情形容詞の使役表現	30-33
木下りか	視点の共有化による共感の形成 —「かもしれない」の新たな用法をめぐって—	34-37
呂 鵬	日本語と中国語の「断り」表現から見るポライトネス・ストラテジー の使用実態	38-41
董 尚	漢語自他両用動詞の使役の研究	42-45
南 明世	方向を表す複合動詞の日中対照研究 —「V1-さげる」「V1-さがる」を中心に—	46-49

日時 2016 年 8 月 9 日（火） 10:00～17:15

場所 名古屋大学全学教育棟 4 階 406 演習室